

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	SOSiLA中央林間	階数	地上5F、地下0階
建設地	神奈川県大和市中央林間西三丁目3860番1、5、7	構造	RC造
用途地域	工業地域、法第22条区域	平均居住人員	1,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2022年8月 竣工	評価の実施日	2022年12月23日
敷地面積	43,074 m <sup>2</sup>	作成者	山岡 郁也
建築面積	24,313 m <sup>2</sup>	確認日	2022年12月23日
延床面積	111,069 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 大林組



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 2.2**

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.4

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>神奈川県大和市に建設される倉庫の計画である。サービス性能、省エネの推進、資源の有効利用のための方策を積極的に採用している。</li> </ul>	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>評価対象外</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常用発電機、無停電装置の設置など、災害時への対応に配慮している。</li> <li>階高などにゆとりのある計画としている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外構緑化に積極的に取り組み、外壁の色彩も落ち着いた色を基本とし、まちなみに配慮している。</li> </ul>
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> <li>高効率な設備システムを導入し、省エネルギーに配慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>節水器具の採用や材料使用量の削減により資源の保護に配慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>LCCO<sub>2</sub>削減に配慮している。</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される